

総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会

電力需給検証小委員会 第7回会合

資料10

経済産業省
総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会
電力需給検証小委員会

説明者：日本旅館協会北海道支部連合会 会長

(公社)北海道観光振興機構 副会長

((株)知床グランドホテル代表取締役社長) 桑島 繁行

北海道内のホテル、旅館施設における節電の状況等について

1 節電の取組状況

日本旅館協会北海道支部連合会、北海道ホテル旅館生活衛生同業組合、日本ホテル協会北海道支部 H26.9.24調べ

	節電している	電球の交換	空調の調整	ロードヒーティングの調整	エレベーターの調整	発電機の使用	契約変更の実施	節電の実績 (H22比削減率) H24 → H25	電気料金 値上げの影響 (万円/年)
大規模施設 100室以上	99%	88%	86%	75%	33%	29%	64%	7.6%→10.1%	1,831.5
中規模施設 31～99室以上	90%	77%	62%	85%	13%	5%	41%	6.4%→8.6%	215.9
小規模施設 30室以下	92%	77%	58%	50%	8%	6%	35%	7.9%→10.5%	242.0

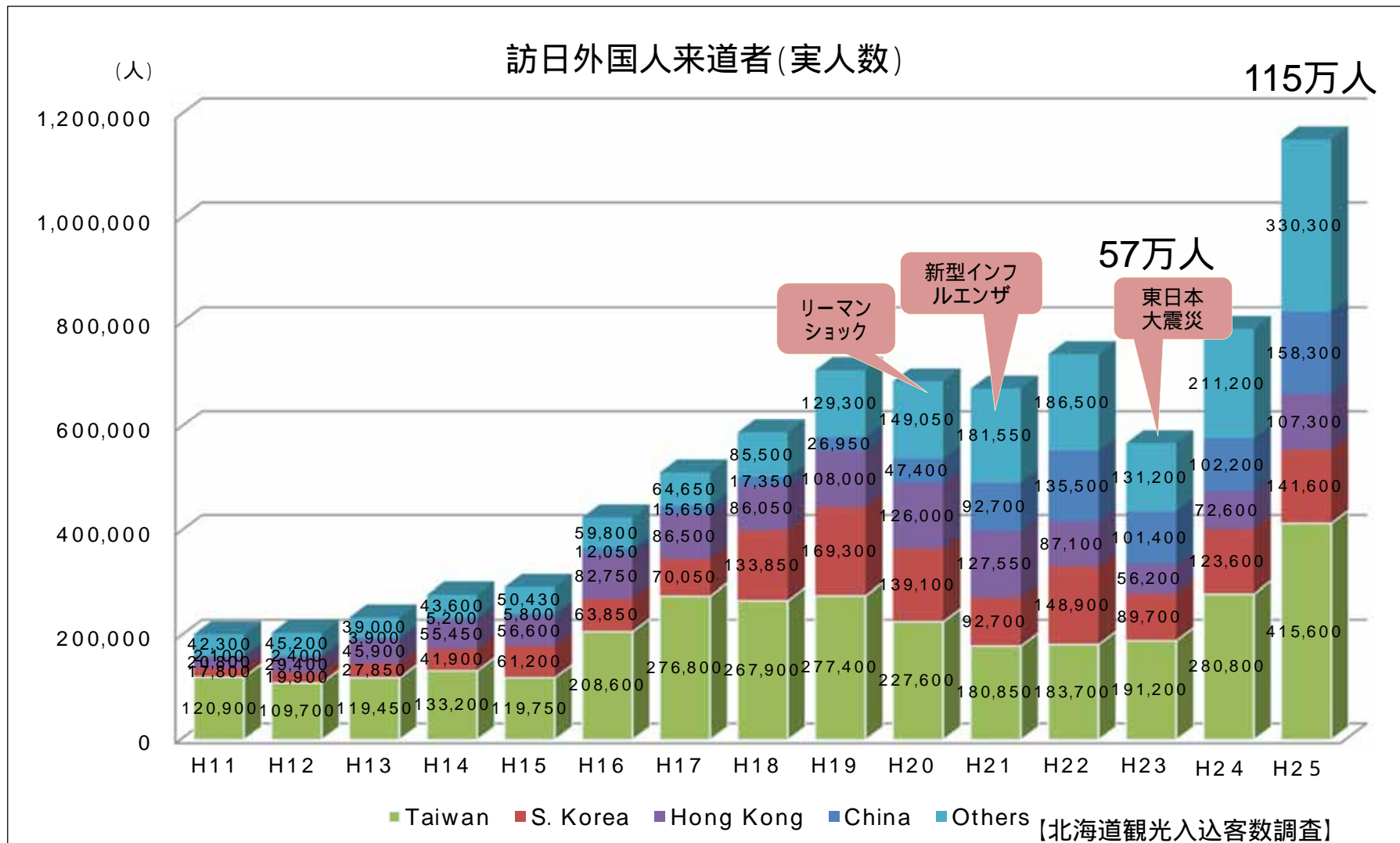
2 事業者からの声

- ・電気料金の値上げ幅が大きく、必要に迫られて節電に取り組んでいる状況にある。
- ・サービス業であり、サービスの質や安全性の維持のため、節電の取組には、一定の限界がある。
- ・これ以上節電を行うためには、多額の設備投資が必要となる。
- ・あとどれくらい節電したらいいのか先が見えず、非常に悩ましい。

中長期的な電力需給の見通しを明確にし、事業者が計画的に取り組むことのできる環境を早急に整備することが必要。

訪日外国人来道者数の推移(国・地域別)

年度として初めて100万人を超え、日本全体の訪日外客数の約1割を占める。



観光入込客数(季節別)

年間入込客数の約5割が夏期に集中し、冬季とのギャップが大きい。
 一方、外国人観光客は、夏と冬の2つのピークがある。

